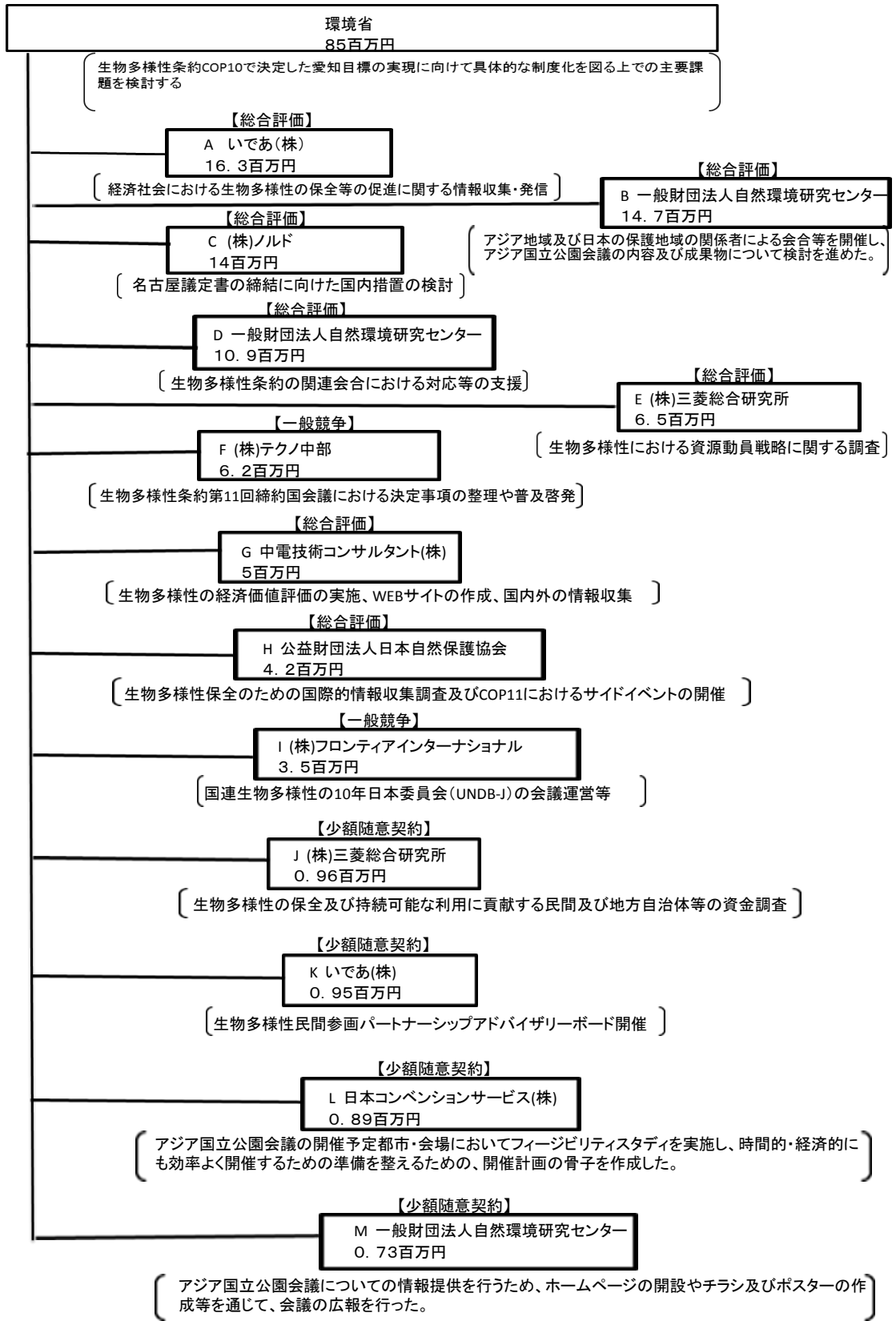


平成25年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	愛知目標の実現に向けたCOP10主要課題検討調査費		担当部局庁	自然環境局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度～		担当課室	生物多様性施策推進室 生物多様性戦略企画室 国立公園課		室長 堀上 勝 室長 奥田 直久 課長 鳥居 敏男		
会計区分	一般会計		政策・施策名	5. 生物多様性の保全と自然との共生の推進 5-1 基盤的施策の実施及び国際的取組				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	生物多様性基本法(第6条、第19条)		関係する計画、通知等	生物多様性条約・愛知目標(目標1、2、4、11、16、20)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	生物多様性条約COP10で決定した愛知目標を世界的に実現するため、事業者や消費者等の民間部門における生物多様性保全への参画推進、遺伝資源へのアクセスと利益配分に関する名古屋議定書の締結に向けた国内措置の検討、生物多様性の経済価値評価、資源動員戦略の検討、CBD保護地域作業計画(PoWPA)の実施強化等が不可欠となっている。これらに関する課題を整理し、愛知目標の実現に向けて具体的な制度化を図る上での主要課題を検討することを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	①経済社会における生物多様性の保全と持続可能な利用の主流化を図るべく、生物多様性の保全と持続的利用に向けた事業者の取組に関する情報収集を行い、経済社会における生物多様性の保全等の促進方策を検討する。②生物多様性を対象とした経済的価値の評価を実施するとともに、国内外の情報収集を行い、今後の課題について検討する。③生物多様性に係る資源動員方策の検討経緯や議論の現状の取りまとめ、課題分析、指標や目標の検討を行う。また、資源動員方策の今後のあり方について議論する国際ワークショップを開催する。④名古屋議定書の締結に向けた国内措置の検討を行う。⑤生物多様性に係る条約関連専門家会合に専門家を派遣する。⑥CBD/PoWPAの実施強化のため、アジア地域の活動状況を取りまとめるとともに、アジア地域が取り組むべき課題について検討する会合を開催する。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		繰越し等	—	0	0	0		
		計	—	96	90	72	53	
		執行額	—	88	85			
	執行率(%)		—	92	94			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)	
	・成果目標として、事業概要④については名古屋議定書の締結及び国内措置の実施を目指す。 ・本事業は政策課題の検討を行うものであり、成果として定量的な指標を示すのは困難である。		成果実績	-	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
	本事業は、政策課題の検討を行うものであり、定量的な活動指標を示すのは困難である。		活動実績 (当初見込み)	-	-	(-)	(-)	(-)
単位当たりコスト	- (円/)		算出根拠	-				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	環境保全調査等委託費	72	53	愛知目標達成評価に関する国際ワークショップの開催終了及び一部事業の統合に伴う効率化による減。				
	計	72	53					

事業所管部局による点検					
項目			評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	生物多様性条約COP10で決定した愛知目標を世界的に実現するための主要課題に対する対応は、国が実施すべき優先度の高い事業である。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	規定手続きに従って支出先が選定されており、競争性の確保、コスト削減が図られた。資金の流れ、費目・使途についても、規定手続きに従って適切に実施された。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		—		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○		
事業の有効性	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—	各事業は仕様書作成段階で実効性の高い手段を採用し、それを着実に実施することにより、当初の目標を達成した。事業の成果物はその後の施策に十分に活用されている。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○		
重複排除	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	—	
	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
点検結果	愛知目標達成に向けて世界的に対応が遅れ、危機的な状況下、国としても喫緊の対応が求められる優先度の高い事業である。引き続き、愛知目標達成に向けて、着実により多くの成果を出すべく、毎年度最適な事業選択を行っていく。				
外部有識者の所見					
行政事業レビュー推進チームの所見					
事業内容の改善	課題解決は急務。優先順位をつけて、着実に課題解決に取り組むこと。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
縮減	解決すべき課題は多いが、名古屋議定書の国内措置の検討及び実施など優先順位の高い課題を重点的に解決していくため、予算要求を行う事業を見直した。				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年	—	平成23年	23'新-009	平成24年	161

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.いであ(株)			E.(株)三菱総合研究所		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	経済社会における生物多様性の保全等の促進に関する情報収集・発信関連	5.3	人件費	研究員	3.6
外注費	アンケート調査実務関連	5.0	旅費	委員旅費、海外旅費	1.2
外部委託	(財)地球環境戦略研究機関に情報収集を委託	2.6	外注費	(株)テクノ中部に資料作成を委託	0.6
通信運搬費	アンケート発送・返送	1.4	一般管理費		0.6
データ購入費	企業情報データ	0.7	その他	印刷費、派遣料、委員謝金	0.5
その他	印刷製本費、旅費、諸謝金他	1.3			
計		16.3	計		6.5
B.一般財団法人自然環境研究センター			F.(株)テクノ中部		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	準備会合等の開催及びアジア国立公園会議の内容及び成果物検討の実施にあたっての件費	7.7	人件費	60人日	3.0
外注費	共同事業実施分	2.0	雑役務費	翻訳及びWebページ制作	1.4
諸謝金	準備会合等委員出席謝金	0.8	印刷製本費	報告書・パンフレット印刷	1.2
雑役務費	準備会合等速記、逐次通訳等	0.7	旅費	打ち合わせ参加	0.2
旅費	準備会合等委員出席旅費	0.6	その他	一般管理費等	0.4
借料及び損料	準備会合等会場借料	0.6			
印刷製本費	準備会合等資料印刷	0.1			
その他	一般管理費、消費税等	2.2			
計		14.7	計		6.2
C.(株)ノルド			G.中電技術コンサルタント(株)		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	検討会の開催、諸外国及び国内の情報収集等の業務の実施にあたっての件費	8.7	人件費	検討会運営、資料作成、データ解析、ヒアリング、WEBサイト作成等	5.6
雑役務費	臨席速記、翻訳等	1.2	外注費	Webアンケート調査(2件)	1.6
諸謝金	検討会委員への謝金、ヒアリング謝金	1.2	旅費	検討会出席旅費、委託先出張(ヒアリング、打ち合わせ等)旅費	1.1
印刷製本費	資料印刷費、アンケート印刷費、報告書印刷費等	1.0	謝金	検討会出席、ヒアリング	0.3
借料及び損料	会場費、オンラインアンケートシステム代	1.0	借料及び損料	検討会会場費	0.2
旅費	現地調査、検討会の委員旅費	0.5	消耗品費	報告書製本費	0.1
通信運搬費	アンケート送付代等	0.3	出精値引		△ 4.1
その他	会議費、消耗品費、賃金	0.1	消費税		0.2
計		14	計		5
D.一般財団法人自然環境研究センター			H.公益財団法人日本自然保護協会		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	188人日	4.4	旅費	専門家派遣、国際会議参加	2.3
旅費	受託者の会議参加、専門家招聘旅費	4.2	人件費	49人日	0.9
諸謝金	専門家への諸謝金	0.2	その他	送料、印刷製本費、一般管理費等	1.0
会議費	サイドイベント開催費用	0.3			
その他	送料、印刷製本費、一般管理費等	1.8			
計		10.9	計		4.2

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

I.(株)フロンティアインターナショナル			M.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
諸謝金	委員会等謝金	1.1			
人件費	委員会等運営業務	0.9			
借損料	会場借料・機材レンタル	0.7			
旅費	委員会等旅費	0.5			
その他	消耗品費、会議費、通信運搬費	0.1			
一般管理費		0.1			
消費税		0.1			
計		3.5	計		0.0
J.			N.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0.0	計		0.0
K.			O.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0.0	計		0.0
L.			P.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0.0	計		0.0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	いであ(株)	経済社会における生物多様性の保全等の促進に関する情報収集・発信	16.3	3	84

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	一般財団法人自然環境研究センター	アジア地域及び日本の保護地域の関係者による会合等を開催し、アジア国立公園会議の内容及び成果物について検討を進めた。	14.7	1	94

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)ノルド	名古屋議定書に係る国内措置のあり方検討会の開催、諸外国及び国内の情報収集・整理	14	1	98

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	一般財団法人自然環境研究センター	生物多様性条約の関連会合における対応等の支援	10.9	1	67

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)三菱総合研究所	平成24年度生物多様性における資源動員戦略に関する調査委託業務	6.5	2	41

F.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)テクノ中部	生物多様性条約第11回締約国会議における決定事項の整理や普及啓発	6.2	1	91

G.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	中電技術コンサルタント(株)	生物多様性の経済価値評価の実施、WEBサイトの作成、国内外の情報収集	5	3	33

H.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	公益財団法人日本自然保護協会	生物多様性保全のための国際的情報収集調査及びCOP11におけるサイドイベントの開催	4.2	1	74

I.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)フロンティアインターナショナル	国連生物多様性の10年日本委員会(UNDB-J)の会議運営等	3.5	11	54

J.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)三菱総合研究所	平成24年度生物多様性の保全及び持続可能な利用に貢献する民間及び地方自治体等の資金調査委託業務	0.96	少額随契	—

K.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	いであ(株)	生物多様性民間参画パートナーシップアドバイザーボード開催	0.95	少額随契	—

L.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本コンベンションサービス(株)	アジア国立公園会議の開催予定都市・会場においてフィージビリティスタディを実施し、時間的・経済的にも効率よく開催するための準備を整えるための、開催計画の骨子を作成した。	0.89	少額随契	—

M.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	一般財団法人自然環境研究センター	アジア国立公園会議についての情報提供を行うため、ホームページの開設やチラシ及びポスターの作成等を通じて、会議の広報を行った。	0.73	少額随契	—